

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	財務戦略 (Strategic Financial Management)					担当教員	刈谷 力 (カリヤ チカラ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型AL
	2037-2-33-111	専門科目	選択	2単位	3年次	後期		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型AL
	2437-2-33-050	専門科目	選択	2単位	3年次	後期		

① 授業のねらい・概要						
<p>財務戦略とは、企業活動において、資金の流れを積極的にコントロールすることである。すなわち、企業を運営していく上では、企業戦略の策定と同時にその実効性を確保するための資金の流れを理解していなければならない。なぜなら、企業における資金の流れは、人間における血液の流れと同様の役割を果たしており、その活動を継続していく上で必要不可欠だからである。そこで、本科目では、企業経営における財務戦略の重要性について説明した後、企業における資金調達の手法（直接金融・間接金融）の概要、日本企業・中小企業における特徴、および企業価値評価等について解説する。本講義を通じて、企業における財務戦略の重要性、資金調達の手法、および企業価値評価等を理解し、説明できるように指導する。</p>						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力						
③ 授業の進め方・指示事項						
<p>■授業の進め方： (1) パワーポイントを活用した配布資料により、テキスト等の解説を実施する。 (2) 講義冒頭で、記憶の再生・定着を促すために、前回講義の復習を行う。 ■指示事項： (3) 各回の講義前に、指定する範囲についてテキストを必ず一読する。</p>						
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能						
なし						
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。						
(1) 砂川 伸幸(2017)『コーポレート・ファイナンス入門 第2版』日本経済新聞出版社						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
(1) 越阪部 龍矢 (2025)『キャッシュフローから逆算する！店舗ビジネス「財務」の教科書』同文館出版						
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）						
<p>学生の理解度・習熟度を確認しながら、講義を進めていく。 企業における財務戦略が、身近で必要不可欠であることを理解し、持続的に発展できる企業経営に役立てていただきたい。</p>						
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安						
<p>(1) 企業における財務戦略の重要性を、理解・説明することができる。 (2) 企業における資金調達の重要性を、理解・説明することができる。 (3) 企業価値の評価方法を、理解・説明することができる。</p>						
⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	企業における財務戦略の重要性の理解・説明	企業における財務戦略に関してテキスト等に頼らず回答でき、授業内容を越えた学修成果を示せる	企業における財務戦略に関してテキスト等に頼らず回答できる	企業における財務戦略に関してテキスト等を見ながら回答できる	企業における財務戦略に関してテキスト等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて回答できる	企業における財務戦略に関して資料等を見ても、教員等の支援を受けても回答できない
(2)	企業における資金調達の重要性の理解・説明	企業における資金調達の重要性に関してテキスト等に頼らず説明でき、授業内容を越えた学修成果を示せる	企業における資金調達の重要性に関してテキスト等に頼らず説明できる	企業における資金調達の重要性に関してテキスト等を見ながら説明できる	企業における資金調達の重要性に関してテキスト等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	企業における資金調達の重要性に関して資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない

(3)	企業価値の評価方法の理解・説明	企業価値の評価方法に関してテキスト等に頼らず回答でき、授業内容を越えた学修成果を示せる	企業価値の評価方法に関してテキスト等に頼らず回答できる	企業価値の評価方法に関してテキスト等を見ながら回答できる	企業価値の評価方法に関してテキスト等に頼らず回答でき、授業内容を越えた学修成果を示せる	企業価値の評価方法に関して資料等を見ても、教員等の支援を受けても回答できない
-----	-----------------	---	-----------------------------	------------------------------	---	--

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法

学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%			30%		100%
(1) 企業における財務戦略の重要性の理解・説明	20%	10%			10%		40%
(2) 企業における資金調達的重要性の理解・説明	15%	5%			10%		30%
(3) 企業価値の評価方法の理解・説明	15%	5%			10%		30%
評価項目「その他」詳細							
フィードバックの方法	各回終了後、自宅での小テストを課し、次回講義で模範解答を示す。						

⑪ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	財務戦略（コーポレートファイナンス）	・テキスト P.13～37 を読んでくること。 ・配布資料の復習	60分
2	資本コストとキャッシュフロー等	・テキスト P.38～51 を読んでくること。 ・配布資料の復習	120分
3	リスクとリターン等	・テキスト P.53～69 を読んでくること。 ・配布資料の復習	120分
4	資本コストの算出、CAPM、WACC 等	・テキスト P.69～83 を読んでくること。 ・配布資料の復習	120分
5	キャッシュフローの割引現在価値、DCF 法等	・テキスト P.85～97 を読んでくること。 ・配布資料の復習	120分
6	株式評価と企業価値評価等	・テキスト P.97～111 を読んでくること。 ・配布資料の復習	120分
7	企業の投資決定等	・テキスト P.113～133 を読んでくること。 ・配布資料の復習	120分
8	海外投資とM&A等	・テキスト P.133～151 を読んでくること。 ・配布資料の復習	120分
9	資金調達と投資行動等	・テキスト P.153～166 を読んでくること。 ・配布資料の復習	120分
10	レバレッジと株式のリスク・リターン等	・テキスト P.166～183 を読んでくること。 ・配布資料の復習	120分
11	配当と株式価値等	・テキスト P.185～196 を読んでくること。 ・配布資料の復習	120分
12	自社株買いと株式価値等	・テキスト P.196～204 を読んでくること。 ・配布資料の復習	120分
13	講義のまとめ1（1～4）	・講義の復習、小テスト	120分
14	講義のまとめ2（5～8）	・講義の復習、小テスト	120分
15	講義のまとめ3（9～12）	・講義の復習、小テスト	120分

⑫ アクティブラーニングについて

■知識定着・確認型ALを採用する。
 ・毎回講義中に小テストを課すことにより、インプット型の講義に加えて、学生の知識のアウトプットも重視し、知識の定着を目指す。
 ・前回講義中に受け付けた質問・感想、及び宿題の内容について、講義中にフィードバックを行うことで、理解度を高めていく。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
経営コンサルタント・中小企業診断士として、創業支援・事業計画策定・事業承継・M&Aに携わった経験がある。

実務経験と授業科目との関連性

経営コンサルタント業務において、創業支援・事業計画策定・事業承継・M&Aの際は、資金調達・財務戦略・企業価値評価を意識した対応が不可欠で、本授業科目との関連が極めて高い。その経験を事例紹介としてわかりやすく説明する。